



劇場

シアターX_{カイ}提携

有馬銅鑼魔 No.55

独り芝居 太宰治作

「走れメロス」

私は恐ろしく大きいものの為に
走っているのだ



有馬真胤 下座：エイコ

「ピアノ」芥川龍之介作
語り：岩間太郎



「すみれ」北條民雄作
語り：エイコ



日時：2025年10月13日（祝）

開演時間：15時（受付：開場30分前）

入場料金：3,000円

劇場 東京・両国 シアターX_{カイ}

チケットご予約・お問い合わせ：090-9209-0896

制作：有馬英子 チラシデザイン：Hinako

有馬HP：<http://arimamasatane.me>

協力：鳥居慎吾（アトリエ・シャノアールトリイ）平野由紀子

住所：〒130-0026

東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア1階

電話：03-5624-1181



JR 総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約3分
都営地下鉄大江戸線両国駅A4・A5 出口徒歩約8分
東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア1階

太宰治の『走れメロス』この作品はあらゆる面で私を成長させてくれました。2007年、文芸社ホールで初演してから節目では必ずこの作品を上演して参りました。単純明快なテーマ、そして息もつかせぬ疾走感あふれる美しい文体、今この衰えてゆく肉体で何処迄出来るか、エイコの三味線の力を借りてもう一度挑戦したいと思います。そして前回に続いて岩間太郎さんには、芥川が関東大震災のあと横浜山手の壊れかけたピアノに出逢うという小品『ピアノ』を、エイコには19歳でハンセン病を発症し23歳で亡くなった北條民雄が死を見つめながら生きることへの賛歌をうたった珠玉の童話『すみれ』を演じてもらいます。このチームで力を一つにして劇的空間を創りたいと思います

有馬真胤



有馬真胤(アリママサタネ)プロフィール:

有馬銅鑼魔主宰 劇団四季出身 舞台を中心に活動。

主な舞台: 蜷川幸雄演出: 「王女メディア」「二ナガワ・マクベス」「近松心中物語」「リア王」「仮名手本忠臣蔵」等 劇団四季: 「ひばり」「異国の丘」「オンディーヌ」等 平幹二郎主催「王女メディア」「冬物語」「鹿鳴館」

2005年より「有馬銅鑼魔」と銘うって、パートナーのエイコの津軽三味線と共に、独り芝居、語りを中心に精力的に活動をしている。

有馬銅鑼魔 主な一人芝居: 太宰治「走れメロス」「駆け込み訴え」、杉本苑子「夜叉神堂の男」浅田次郎「天切り松闇がたり」シリーズ、谷崎潤一郎「母を恋うる記」等

岩間太郎 プロフィール:

文学座プラチナクラス修了、演劇集団プラチナネクスト所属 劇団ふたり語り主宰

近年は芝居から読み聞かせ、朗読、語りへと活動を広げている。



エイコ プロフィール:

20年前、有馬の要請で独り芝居、一人語りに津軽三味線で合いの手を入れる活動で初めて舞台に立つ。近年は語りを勉強し徐々に発表を始め。川端康成作「雨傘」、小泉八雲「おしどり」、小川未明「金の輪」、幸田文「濃紺」。篠笛も勉強を始め、有馬の語りの伊集院静「少年譜」の中で演奏。